

2025年3月5日

関係各位

雪印メグミルク株式会社
酪農総合研究所

2024年度 酪農暑熱対策セミナー開催のご報告

酪農総合研究所では、北里大学獣医学部動物飼育管理学研究室様と、2021年度より3年間の計画で全国約40戸の酪農家様の協力のもと、「牛舎環境と乳用牛の生産性に関する研究」を進めてまいりました。これまでの共同研究において、貴重なデータや新たな知見、効果的な暑熱対策のヒントを得ることができ、本研究結果を広く公表することで、我が国の酪農生産に対する暑熱環境の影響を軽減すること、ひいては酪農家および国内の乳生産に寄与することを目的とし、北里大学様と共同で当セミナーを開催致しました。

当日は当社スキー部の心温まるご協力を得て、参加者へのスキージャンプの広報・宣伝活動も行い、参加者の皆様にスキー部の歴史の紹介説明やポケットティッシュを配布し大変好評でした。

この酪農暑熱対策セミナーは東京都内にて実開催のみで開催し、全国各地から総勢で約130名の参加申込を頂き、盛会裏に終えることができました。

記

1. テーマ 酪農暑熱対策セミナー ～“異常な暑さ”が通常になる時に備えて～
2. 目的 温暖化の加速が避けられない状況において、国内で酪農生産を持続していくためには、乳用牛に対する暑熱ストレスの影響を正確に評価して、適切な暑熱対策を実施する必要があります。そこで北里大学獣医学部動物飼育管理学研究室様と酪農総合研究所は、2021年度から全国約40戸（北海道～沖縄）の酪農家の協力のもと、牛舎環境と乳用牛の生産性との関連について研究を進めてきました。
研究期間中の2023年、2024年と2年連続で平均気温が観測史上最も高い値を記録するなど、乳用牛にとって厳しい飼育環境となりましたが、研究成果として貴重なデータや新たな知見、効果的な暑熱対策のヒントを得ることができました。
そこで、我が国における酪農生産の今後の在り方を再認識するとともに、本プロジェクトの研究成果を広く公表することで、酪農生産に対する暑熱環境の影響を軽減すること、ひいては酪農家および国内の乳生産に寄与することを目的とします。
3. 開催日時 2025年3月4日（木）13:00～17:00
4. 内容 基調講演「酪農生産における温暖化対応と将来の在り方について」
酪農学園大学農食環境学群 教授 堂地 修氏
講演「近年の暑熱環境は乳用牛の乳生産性・繁殖性にどう影響しているか
～“異常な暑さ”が通常になる時に備えて今やるべき暑熱対策～」
北里大学獣医学部 准教授 鍋西 久氏

5. 共催セミナー当日

当日は小雪が降る中での開催でしたが、全国の畜産技術者、指導者、関係機関、酪農家の皆様がお越しになりました。講演会の後は、総合質疑となり大変活発な意見交換が行われました。



主催者挨拶 酪総研 戸邊常務



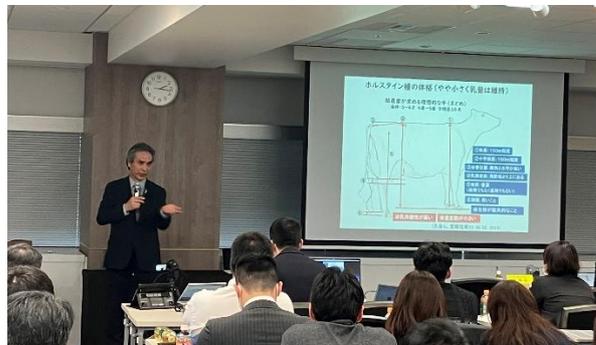
セミナー会場の様子（満席）



当社スキー部の紹介



酪農学園大学 教授 堂地 修氏



基調講演をされる堂地教授



北里大学 准教授 鍋西 久氏



講演をされる鍋西准教授



総合質疑の様子



白熱する総合質疑

以上